



「絵本とわらべうたの会」2023年度⑩

日時 3月5日(火) 10:00~11:00
場所 西公民館 2階 和室 (15組程度)
申込み 2/14(水)~

就園前の子どもとお母さんを対象にわらべうたで楽しいひとときを過ごします。

事前に参加申し込みが必要ですが、当日来ていただいても定員に余裕がある場合はご参加いただけます。

市民読書サポーターのいる日程 2月

市立中央 図書館 (10:00~ 12:00)	3日(土)	10日(土)
	17日(土)	24日(土)

小学校での語りと本のブックトーク

ある小学校2年生のクラスへ昔話の語りとおすすめ本のブックトークに出かけました。

ノルウェーの昔話「ホットケーキ」で次々と出てくる登場人物のおかしな呼び名に、教室のあちらこちらで笑い声があがりました。その時ある男の子が、「え、オジサンボジサンは？」とつぶやきました。その子はくりかえされるセリフの中で次は誰と目に浮かぶように想像しながら聞いていたのでしょうか、私がひとり抜かして語っていたことに気づいたのです。私の失敗でしたが、話に集中して聞いている子どもの鋭さを教えられ、身の引きしまる思いでした。



また、ブックトークで紹介した本の片づけを手伝ってくれた女の子が『エルマーのぼうけん』を手にして、「これは保育園の先生が読んでくれた」となつかしそうに話してくれました。幼いころ出会った心に残る本は、その時その場にタイムスリップしたように、先生の声やとなりになっていた友だちのぬくもり、わくわくした空気感などをよみがえらせ、その後も子どもの心の支えとなっていきます。子どもをとりまく大人たちがよい本を手渡すことの大切さをあらためて考えさせられました。(市民読書サポーター 山本玲子)



小学校低学年・中学年におすすめの本

小学校低学年から



ちびドラゴンのおくいもの

イリーナ・コルシュノフ 作
酒寄進一 訳
国土社

「デブソーセージ」とからかわれていたのろまのハンノーは、学校なんか大きい。ある日、地面の中からちびドラゴンが現れる。ちびドラゴンにはドラゴンの学校でばかにされ、とび出してきたのだという。ハンノーは、何でもやりたがるちびドラゴンに、歌ったり踊ったり、字を書いたり、本を読んだりしてやるうちに、いつの間にか苦手なことができるようになる。

小学校中学年から



雪の写真家 ベントレー

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン 作
メアリー・アゼリアン 絵
千葉茂樹 訳
BL出版

アメリカの豪雪地帯にある小さな農場に生まれたベントレーは、子どものころから雪が大好きだった。ほかの子が雪合戦で遊んでいるときも古い顕微鏡で雪の結晶を観察していた。高価なカメラつき顕微鏡を買ってもらおうと、工夫をこらして雪の結晶の写真を撮りつけ、やがて世界中の人々にその美しさを伝えた。

雪に魅せられた農夫ベントレーの一生を、ぬくもりある版面でつづった伝記絵本。